

1 得点分布及び小問ごとの正答率

表1 得点分布

得点	人数 690人	
	人数	%
100	1	0.1
90～99	73	10.6
80～89	132	19.1
70～79	108	15.7
60～69	101	14.6
50～59	88	12.8
40～49	69	10.0
30～39	52	7.5
20～29	45	6.5
10～19	21	3.0
1～9	0	0.0
0	0	0.0

表2 小問別正答率(%)

大問	小問	正答率	
[1]	問1	1 90.1	
		2 79.9	
		3 83.7	
		4 26.2	
	問2	1 88.7	
		2 91.3	
		3 76.2	
	問3	1 71.8	
		2 60.4	
		3 60.7	
	小計		71.8
	[2]	問1	(1) 91.7
(2) 87.4			
(3) 88.3			
問2		79.3	
		81.5	
		71.6	
		78.3	
小計		82.6	
[3]		問1	74.4
			50.1
	69.9		
	49.7		
	問2	83.0	
		64.9	
		85.8	
		51.9	
		52.0	
	小計		66.0
	[4]	問1	(1) 61.6
			(2) 36.7
(3) 65.2			
問2		49.0	
		41.0	
問3		33.6	
小計		44.4	
[5]	問1	(1) 83.9	
		(2) 84.5	
		(3) 66.8	
	問2	44.6	
	問3	69.9	
	問4	1 6.3	
		2 49.6	
	問5	1 60.1	
		2 61.0	
		3 62.2	
4 62.2			
問6	36.8		
小計		56.8	

2 分析結果の概要

平均点が、昨年度に比べて約4点下がったことから、受検者にとってやや難しい問題であったと思われる。また、得点分布の状況から60点未満が39.8%で、昨年度の32.7%に比べてやや多くなっている。

聞く力をみる[1]，書く力をみる[4]，読む力をみる[5]の正答率が昨年度に比べ低下している。特に[4]で自由英作文の問題数が増えたことと、[5]の長文問題で難易度の高い問題が含まれたことで、正答率が、どちらとも昨年に比べ約10%低下したと考えられる。ただし、身近な話題についての対話文を構成させる[2]の問題の正答率は、80%を超え、昨年に比べ高い結果になっている。

大問別の正答率の経年比較は、次の通りである。

大問	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
[1] リスニング	78.1	79.4	78.3	80.5	71.8
[2] 対話文読解	65.8	83.7	81.9	74.3	82.6
[3] 対話文，文法・理解	71.8	66.7	75.1	66.7	66.0
[4] 表現力	31.9	30.5	34.9	54.4	44.4
[5] 長文読解	48.5	50.9	56.8	66.0	56.8

3 小問ごとの内容及びねらい

大問	小 問	領域	小問の内容, ねらい	設問方法	備考
1	問 1	1	聞くこと	問題用紙に記載している日本語による質問を, あらかじめ読み, 比較的長い対話文を聞きながら, 質問に対する正しい答えを日本語で記入することができる。	記述 (日本語)
		2			
		3			
		4			
	問 2	1		示された絵を見ながら, 短い対話を聞き, その内容に関する英語の質問に対して, 答えとなる絵を選択することができる。	符号選択
		2			
3					
問 3	1	ある状況を説明する英文を聞き, 英語の質問に対する適切な応答を選択することができる。	符号選択		
	2				
	3				
2	問 1	(1)	読むこと 話すこと	身近な話題についての短い対話文を読み, 内容を理解し, その場面にふさわしい英文を選択することができる。	符号選択
		(2)			
		(3)			
	問 2	身近な話題についての比較的長い対話文を読み, 対話の流れから, 本文の空所に入る適切な英文を選択することができる。			
3	問 1		読むこと 話すこと	「道案内」に関する短い対話文を読み, 状況を把握し, 示された地図を参考に, その応答として適切な英文になるよう, 空欄に適切な英単語を入れることができる。	記述 (英語)
	問 2	短い英語の文章を読み, 内容を読み取り, 話の筋や文の構造から, 空欄に入る適切な語を選択することができる。			
4	問 1	(1)	書くこと	短い対話文を読み, 状況を把握し, 与えられた語を並びかえて, その応答となる適切な英語を作成することができる。	記述 (英語)
		(2)			
		(3)			
	問 2	学校で行われる行事について, 既習の言語材料を用いてその内容を英語で説明することができる。			
問 3	提示された2つの絵から場面を想像し, 自由な発想で状況を説明する英文を作ることができる。				
5	問 1	(1)	読むこと	比較的長い英語の文章を読み, 内容に関する英文を完成させるのに, 最も適切なものを選択することができる。	符号選択
		(2)			
		(3)			
	問 2	(1)		本文の内容を読み取り, ケニアの森林が減少した理由を, 決められた語数の日本語で説明することができる。	符号選択
		(2)			
		(3)			
	問 3	本文の流れから, 空所に入るべき適切な英文を選択することができる。		記述	
	問 4	1		与えられた日本語に合うように, 本文中の空所に適語を補い, 適切な英文を完成することができる。	記述 (日本語)
		2			
	問 5	1		本文の話の中心となる, グリーン・ベルト運動をまとめた文章の空欄に入る, 適切な単語を選択することができる。	符号選択
2					
3					
4					
問 6	本文の内容に一致する英文を選択することができる。	符号選択			

基礎的・基本的事項の設問には, 備考欄に 印を付してある。

4 標準解答及び考察

1

標準解答

問1	1	5日(間)	2	腹〔胃〕	3	花(束)	4	病院の前
問2	1	イ	2	ア	3	エ		
問3	1	イ	2	ウ	3	ア		

考察

聞く力をみる問題である。問1は、聞き取るべき内容をあらかじめ日本語で把握した上で、比較的長い対話文を聞き日本語で答える問題である。4の正答率が20%台でかなり低かった。これは、There is one in front of the hospital.を聞き取らせる問題であったが、間違った解答の多くが「病院の前」を「病院の近く」と答えていた。問2は、男女の対話を聞き、その内容についての質問に対する情報を的確に聞き取る問題である。1, 2は高い正答率であったが、3は男女2人がいる場所を特定する問題で、やや正答率が低かった。問3は、1, 2, 3ともに正答率が低く、特に、ものをすすめる表現が使われている2, 3が約60%であった。

そこで指導に当たっては、日ごろから音の連結や強形、弱形等に注意させながら、発音指導や音読指導を取り入れること、また、ものをすすめる表現などを日ごろから適宜、言語活動に取り入れることが大切である。

2

標準解答

問1	(1)	エ	(2)	ウ	(3)	ア		
問2		カ		オ		ア		エ

考察

読む力・話す力をみる問題である。身近な話題についての対話文を読み、その場面にふさわしい英文を選択する問題で、問1が比較的短い対話文で、問2が比較的長い対話文である。全体が80%を超える正答率であった。ただし、問2の の正答率はやや低かった。

そこで指導に当たっては、やや長い対話文を読ませる場合は、ペアワークでの音読指導で英文の習熟を図り、話の展開に注意させながら代名詞、単数形、複数形などに日ごろから意識をもたせることが大切である。

3

標準解答

問1		turn		third		left		all
問2		イ		ク		キ		ア

考察

読む力・話す力をみる問題である。単語の綴りや語法など言語活動を行う上での基礎的な力をみている。「道案内」に関する短い対話文を読み、示された地図を参考に応答として適切な英文になるよう空所に適語を入れる問題と、短い文章を読み、話の展開や文の構造から空所に適語を選択させる問題である。昨年度同様に正答率が60%台であった。特に問1 では third の綴りの誤り、 では Not at all の表現を書くことができず、問2 同様、正答率が約50%でやや低かった。また問2 も、be surprised that S+V の発展的内容の出題で、正答率が60%台であった。

そこで指導に当たっては、基本的な文法事項、英単語の綴りの定着を図るために、日付や順番を表す序数の言い方では、例えば、あいさつの中で日付の確認を行うことが考えられる。また語法として interesting と interested, exciting と excited の違いについて生徒に習熟を図るために、例えば、interest (~に興味を持たせる), excite (~を興奮させる) の動詞の意味を確認させることが考えられる。

標準解答

問 1	(1)	Yes, but it is sung in many countries .
	(2)	Please tell her to call me later .
	(3)	It's hard for me to get up before six .
問 2		OK. I'll tell you about the (entrance ceremony / ball game tournament / school festival).
	(例 1)	We welcome new students in the gym . We sing our school song together .
	(例 2)	Every student plays one of the ball games .
	(例 3)	We cheer for our classmates in it . Every class sings a song on the stage .
		We can see beautiful pictures painted by our friends .
問 3	(例 1)	A man wanted his dog to listen to his violin. But the dog didn't like the music. So it ran away when he began to play the violin.
	(例 2)	A man said to the dog, "Stay here," and began to play the violin. But he was not good at it. So the dog left the chair at once.

考察

書く力をみる問題である。正答率が40%台と低かった。問1は短い対話文を読み、状況を把握し、与えられた語を並べかえて、その応答となる適切な英文を作成する問題である。(1)、(2)及び(3)のどの問題も正答率が低く、特に(2)は30%台でかなり低かった。間違いの多くは、「tell 人 to 不定詞」の形が作れていなかったり、callを「電話する」の意味ではなく「～を・・・と呼ぶ」の意味で考えていたり、herとmeの位置を逆にしてあるものだった。その他、(1)の受動態、(3)の「It is ~ for・・・to 不定詞」などは基礎的事項であるが、正答率は60%台で高いとは言えない。問2、問3は与えられた情報を参考に、場面に応じて、指示された語や自分の知っている簡単に初歩的な英語を用いて、自由に表現する力をみる問題である。問2、とも正答率40%台、問3は正答率30%台でかなり低かった。文法の誤りが多く、冠詞や前置詞の使い方、一般動詞の現在形と現在進行形の区別ができていない表現、例えば、「We are sing・・・」、「We are enjoy・・・」の表現が数多く見られた。

そこで指導に当たっては、習った言語材料や文法事項を使った英作文の活動を、コミュニケーション活動の一環として行うことが大切である。タスクを中心にした活動の後で、例えば生徒が発表した原稿を基に既習の文法事項のフィードバックを行い、生徒に間違っただ箇所を気付かせるなどの手立てが必要であろう。また、show & tellやspeechなどで原稿を英語で書く場を数多く与えるなど、ある程度まとまった英文を、初歩的な英語を用いて書く力を高める指導が望まれる。

5

標準解答

問1	(1)	イ	(2)	ウ	(3)	ア				
問2	人口が増え、多くの木が料理用のまきとして切り倒されたから。									
問3	エ	問4	1	succeeded	2	but				
問5	1	イ	2	オ	3	ア	4	ウ	問6	ウ

考察

比較的長い英語の文章を読み、その内容の概要や要点を読み取るなど、総合的な力をみる問題である。

本文のテーマは2004年にノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんと、彼女が推進したグリーン・ベルト運動を説明する英文の読解を通して、環境問題について考えさせるものである。

問2はケニアの森林が減った理由を30字以内の日本語で書かせる問題であるが、「人口増加」「まき(たきぎ)」「木を切る」の3つのポイントをおさえていなかった解答が多かった。また、問4の1は、英単語の綴りを書かせる問題で正答率が約6%、問6は、本文の内容に一致する英文を選択する問題で正答率が30%台であり、かなり低かった。

そこで指導に当たっては、英単語テストや英単語コンテストを実施して英単語を覚える意識を高揚させ、必要に応じてまとまった量の英文を読むことに慣れさせる必要がある。また、学年を追うごとに副教材などを用いて、英文の量を増やししながら内容の概要や要点を読み取る練習、例えば T/F、Q&A などを用いて、読む力を高める指導が望まれる。

5 英語リスニングテスト 読み上げ原稿

[4点チャイム]

これから、英語の学力検査を行います。まず、解答用紙に、出身中学校、受検番号及び氏名を書きなさい。書き終えたら、問題用紙のページ数を調べて、異常があれば黙って手を挙げなさい。

[1点チャイム]

最初の問題は、放送によるリスニングテストです。問題用紙の1ページを開きなさい。では、問1の問題を始めます。

問1は、由紀と太郎の対話を聞いて、問題用紙に書かれている1番から4番までの質問に日本語で答える問題です。それぞれの質問に対する適当な答えを、日本語で書きなさい。まず、問題用紙の質問を読みなさい。

それでは、対話を放送します。対話は2回繰り返します。

F : Hi, Taro. Are you free today?
M : Yes. But why, Yuki?
F : Do you know Keiko has been in the hospital for five days?
M : Oh, really? That's too bad.
F : Yeah, so why don't we go to see her in the hospital this afternoon?
M : Sure.
F : Shall we buy something for her?
M : Well... I have a good idea. How about bringing her some cakes? She likes cakes.
F : I don't think it's a good idea. Don't you know she has a problem with her stomach?
M : Oh, I remember that. Do you have another idea?
F : I think flowers are good. Keiko really likes them.
M : OK. Let's get some and visit her in the hospital. Do you know a good flower shop?
F : Yes. There is one in front of the hospital. Let's buy them there.
M : OK.

繰り返します。・・・・・・・・

[1点チャイム]

問2に移ります。問2は、1番から3番までのそれぞれの対話を聞いて、その内容についての質問に答える問題です。質問に対する答えとして最も適当なものを、ア、イ、ウ、エの中から1つ選び、符号で答えなさい。対話と質問は、2回繰り返します。

1番

M : Hi, Naomi. Look. I have two movie tickets. Will you go to see the movie with me?
F : Great! I've wanted to see it. Thanks a lot, Takeshi.
M : I'm happy to hear that. When can we go?
F : Saturday afternoon is fine with me. Is that OK with you?
M : Yes, of course.
Question : When will they go to see the movie?

繰り返します。・・・・・・・・

2 番

F : What time is it, Dad?

M : It's eight fifty.

F : Really? I have to get to the station by nine. I'll meet my friend there. Oh, I have only ten minutes. Will you take me to the station in your car?

M : Sure.

F : Oh, thanks.

Question : How will the girl go to the station?

繰り返します。

3 番

F : What do you want to eat for dinner, Kenji?

M : Well, it's cold today. I want to eat something hot.

F : OK, I'll cook some soup. We have to buy milk and onions. I'll find the onions. Will you get the milk?

M : Sure. Where is it?

F : It's near the corner over there.

M : OK.

Question : Where are they?

繰り返します。

[1 点チャイム]

問3に移ります。問3は、1番から3番までの英文を聞いて、それぞれの場面でどのように言ったらよいかを答える問題です。場面を説明する英文に続く質問の答えとして、最も適切なものを、ア、イ、ウ、エの中から1つ選び、符号で答えなさい。英文は、2回繰り返します。

1 番

Kumiko is your friend. She has a book. She has finished reading it, and she says it is very interesting. You want to read it.

Question : What do you say to Kumiko?

繰り返します。

2 番

You and Ken are good friends. You are at Ken's house now. It's about noon. Ken's mother says to you, "Why don't you have lunch with us?" But you have already had lunch, and you cannot eat anything.

Question : What do you say to Ken's mother?

繰り返します。

3 番

You are making a plan for the trip in the summer vacation with your family. Your mother says, "How about going to Fukuoka?" You have never been there. So you would like to go there.

Question : What do you say to your mother?

繰り返します。

[1 点チャイム]

これで、リスニングテストを終わります。引き続き、2ページ以降の問題に進みなさい。